

初めてのチェンマイロングステイ36日間

東海支部 No208 小林 明広

1. はじめに

私は昨年早期退職し、チェンマイで初めての36日間ロングステイ(以後LSと略記)を体験した。当地の一般的な情報は会報等に何度か出ているのでなるべく省略し、3、4項で自分の体験、役立ち情報を中心に報告するが、なにせLS初心者のため、入門編ということでご容赦願いたい。

2. 住居、日常生活

住居：最初の4日はアマリリンカムホテル(KKトラベルで事前予約)、残りの1ヶ月はヒルサイドコンド4(ヒルサイドで事前予約)を利用した。

日常生活(1B(バー)は約3.3円)

ゴルフ：現地滞在の方のお世話で週2回ほどプレイした。交通費・チップ込みで800~1300B(ゲスト)だった。ビジターだと2000~2500B位。



グリーンバレー：今野様ご夫妻と、右端が私

マッサージ：週6回ほど通った。場所により値段は異なるが1時間150+50B(チップ)位。

タイ語の学習：KKトラベルの紹介でラチャパット大学日本語科卒業生に個人教授してもらった。週1回、2時間で200Bと格安だった。

名所見物：ドイタノ、ドイステープ、お寺巡り、ゴールデン三角形、動物園など、詳細は省略。

食事：朝食はコンビニ買い置き、昼食は近くの食堂やゴルフ場で40~60B位。夕食は南の会の人との食事が主で、値段は場所の違い80~300B位。

*けっこう食べたのにLSのあと体重が2.5kg減っていた。タイ料理、生活の変化のためか？

3. トピックス

花博(2006.11月~2007.1月)

規模は愛知万博にはとても及ばないが、花の展示はそれなりに立派で綺麗だった。特にタイ国のブース(全体の1/3)は良く出来ていた。友人の案内を含めて4回行った。入場券200B



花博：Royal Pavilion Zone

ビザ無しでの滞在延長

タイのノービザ滞在は30日以内だが、今回はこれを越えるので、ゴールドトライアングルツアーでタイからミャンマーに出入国し、滞在期限を延ばしてもらった。ツアー料金は1000B、出入国は20分で済んだ。

バンコク銀行の口座開設

06年4月より条件が厳しくなったが、タイ人の保証人があれば口座開設は可能で、私はコンドを借りた業者に依頼して口座開設ができた。

4. 生活費に関して

タイパーツの入手方法の比較

センタンのバンコク銀行にて、日本円の両替、クレジットカードでのキャッシング、キャッシュカードの3つの方法を同時に実施して手数料を比較した。表手数料の右欄より、日本円(現金)の両替の手

手数料が 1.8 % と一番有利で、クレジットカードでのキャッシング（ATMを使う）が 2.2 % で 2 番目、キャッシュカードで引出し（ATMを使う）は手数料が 3.6 %、4.6 % と高く不利との結果が出た。キャッシュカードの手数料には為替レート + 銀行手数料 + 引出手数料が入っており、この銀行手数料が 1.5 ~ 3 % 取られるので不利になったと思われる。クレジットカードでのキャッシングの年利は通常 18 % で高いように思われるが、1ヶ月で返済してしまうので金利は 1.5 % しかかからない。

が 1200B/件で、為替レートの手数料が 2.3 % 程度あるのでこれ以下には下がらない。送金は多額のお金が必要な場合に安全な方法と思われる。クレジットカードをそのまま使う方法は、欧米で活用されており、身分証明、旅行保険の機能もあるので私は必ず 1 枚携帯するが、タイで使う場合は 3 ~ 4 % の手数料を取られるので不利である。トラベラーズチェックは紛失や盗難にあっても再発行可能、両替レートが有利など良いところもあるが、私の場合は入手が面倒なので使ったことがない。

表 手数料 (円/B/3.23 - 1) × 100 = 手数料%
為替レートは TTM = 3.23 円/B

日本円の両替	6080B	20000円	1.8%
クレジットカードキャッシング	10000B	33001円	2.2%
キャッシュカード A	10000B	33458円	3.6%
キャッシュカード B	10000B	33779円	4.6%
バンコク銀行に送金 (07.9月TTM=3.5)	26733B	102500円	9.5%
	278130B	1002500円	3.0%

お金の支払い方法は他にもある。日本からバンコクの銀行に送金する方法は 07.9 月に試してみた。タイバンクからバンコク銀行の場合、表の下 2 段にあるように、10 万円の送金で手数料は 9.5 %、100 万円では 3.0 % と金額が増えるほど安くなるが、日本円の両替より手数料がかかる。送金手数料の内訳は為替レートが 0.08 円/B + タイバンクが 2500 円/件 + バンコク銀行

今回の生活費と改善案

表に LS の費用 (単位: 万円) を記載した。

今回は単身の滞在で、36 日間の実費は合計 35.3 万円と結構高くなった。そこで次回の LS でもっと安く生活する方法を考えた。航空券代・宿泊費は長く滞在した方がベターであり、今回は 3ヶ月の LS で試算した。これで航空券 + 日本の交通費はほぼ 1/3 になる。宿泊費はコンドミニアムの種類、取扱い業者の手数料、借用期間でずいぶんコストや中身が違う。今回の 1/3 の家賃で同レベルの部屋を見つけたので、今回はそこを使う。生活費はゴルフやマッサージ、食事代は減らしたくないのでそのままにし、安い市場や、安くておいしい店を探せば 2 割は減らせると試算できる。これらを LS の試算に反映した結果、改善後の 1ヶ月の費用は約 16.3 万円となり、数年後の年金生活でも何とかやっていける目処がついた。ただし、最近の為替レートの変化が心配だが・・・。

5. チェンマイの良い所・悪い所、課題など

良い所は、物価が安い、ゴルフ場が安く近い、

表 LS の費用 (単位: 万円) 36 日間の実費

航空券+日本の交通費	10.5+0.4 = 10.9
宿泊費 (コト 1月+ホテル4泊)	6.0+1.0 = 7.0
生活費	16.2
今回だけの費用 (携帯、口座)	1.2
合計	35.3

次回3ヶ月LSの試算

費用/1ヶ月

× 1/3 × 30/36	3.0
コト 1/3、ホテル 1/2	2.5
× 0.8 × 30/36 (市場を活用)	10.8
今後は不要	0
改善後の1ヶ月の費用	16.3

マッサージが安い、安全、人が優しい、日本人もたくさんいるなど。

悪い所は、車が増え排気ガスで空気が汚染されている（特に冬）、道路が渡りにくい、細い路地に犬が多い、歩道は木や車などで歩きにくい等。

課題は、南の会の人との付き合いが多くなり、タイ語が上達しにくい（話す相手はキャディさん位）。今後タイの人との交流機会を増やしたい。

6. 終わりに

今回のLSでは、南の会の方々にお世話になった。チェンマイ在住・滞在の皆様、さらにタイ人の方々に深く感謝すると共に、今後各地でLSする際のご協力をお願いして筆を置きます。